

一般質問（文書質問）

議員名 辻 達広

<質問項目>

- 1 障がい者支援について
 - (1) 障害者手帳更新に必要な診断書の取得費助成について
- 2 防災について
 - (1) 防災訓練について
 - (2) 避難所の運営について
- 3 G I G Aスクール構想について
 - (1) G I G Aスクール構想の概要と現状について
 - (2) 教員の I C T活用について
 - (3) 休校中の学習支援等に関する取り組みについて
- 4 L I N Eなどを活用した教育相談窓口の開設について

<質問内容>

- 1 障がい者支援について
 - (1) 障害者手帳更新に必要な診断書の取得費助成について
 - ① 障がい者とその家族の経済的負担を軽くすることを目指し質問を致します。
まず、香取市内に障害者手帳を保持されている方は何人いますか。手帳の種類ごとに回答してください。
 - ・身体障害者手帳
 - ・精神障害者保健福祉手帳

- ・自立支援医療受給者証（精神通院医療）
- ② それぞれの障害者手帳更新手続きに必要な「書類」は何か。
- ③ 手帳用の診断書の作成費用はいくらか。
- ④ 障害者手帳の更新手続きに必要な診断書作成の費用が障がい者とその家族の経済的負担になっています。香川県高松市やさぬき市では医療機関の診断書の取得費用を助成する「障害者手帳等更新用診断書等取得費用助成事業」があるが、このことは承知しているか。
- ⑤ 香川県さぬき市の助成事業は、市内に住所があり、㊦身体障害者手帳の再認定申請、㊧精神障害者保健福祉手帳の更新申請、㊨自立支援医療受給者証（精神通院医療）の再認定申請のいずれかの再認定・更新時の助成額は㊦と㊧が5,000円、㊨が3,000円を上限に助成される。香取市においても障害者手帳の更新手続きに必要な診断書作成の費用を助成し、障がい者とその家族の経済的負担を軽くしてほしいが、見解はどうか。

2 防災について

(1) 防災訓練について

- ① 関東地方は6月から梅雨に入り雨量が多くなる季節を迎えます。また、9月には台風シーズンとなり暴風による被害が懸念されます。そして、頻発する地震に対する防災意識を持つことが求められています。そこで、香取市において実施されている防災訓練の内容はどのようなものなのか伺います。
- ② 市の防災訓練に児童・生徒の参加はありますか。
- ③ いざという時の災害時においては、さまざまな災害の特徴を知ることや避難時の知識が必要になります。そのことを子どもながらも習得しておくことは、自ら小さな命を守ることになります。全国では家族や友達と楽しみながら防災知識を身につける「イザ！カエルキャラバン」(<http://kaeru-caravan.jp/>)という防

災イベントが開催されています。この防災イベントを承知しているか。

- ④ 「イザ！カエルキャラバン！」は、地域の防災訓練プログラムと、美術家藤浩志が考案したおもちゃ交換会「かえっこバザール」を組み合わせた防災イベントです。子どもたちが遊びの延長で防災の知識を身につけられる活動です。2005年にスタートし、いまではさまざまな企業や団体と協力し、全国各地で開催しています。ゲーム感覚で、防災を体験し、いざという時に皆が共助出来る仕組みを考えたもので、最近では、洪水対策のオーダーもあるようです。香取市においても、この防災イベント「イザ！カエルキャラバン」を香取市の防災訓練に取り入れることが有効であると考えますが、見解は。

(2) 避難所の運営について

- ① 新型コロナウイルスが収束しない中で、避難所を開設する必要がある自然災害が発生した際の避難所運営において、密集・密接・密室のいわゆる3密を避ける対策はどのように講じるのか伺います。

3 G I G Aスクール構想について

(1) G I G Aスクール構想の概要と現状について

昨年末に打ち出されたGIGA スクール構想について、その概要と香取市における現状についてお尋ねします。

(2) 教員のICT活用について

現在の状況に鑑み、教師がICTを効果的に活用して、指導力を高めていくために、どのようなことに取り組まれるのかお伺いいたします。

(3) 休校中の学習支援等に関する取り組みについて

休校中の子供たちへの学習支援は随時行われていると思いますが今般の問題などを鑑み、なるべく早い時期にリモート授業なども視野に入れた学習環境の整備が必要と思われませんが見解を伺います。

4 LINEなどを活用した教育相談窓口の開設について

全国的な動きとして、LINEなどを利用した、いじめや勉強に関する悩み相談窓口の開設が進んでいます。新型コロナウイルス感染症に伴う長期の休校のためにストレスや、学校が再開されてからの不安などを抱える子供や保護者も多いと予想されます。出来る限り早い時期に香取市においても開設をして頂きたいと思いますが見解を伺います。

<答弁内容>

1 障がい者支援について

(1) 障害者手帳の更新に必要な診断書の取得費助成について

- ① 障害者手帳には、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の三種類があります。手帳所持者数は、令和2年4月1日現在で、身体障害者手帳が2,838名、精神障害者保健福祉手帳が410名、療育手帳が672名です。
- また、ご質問の自立支援医療受給者証(精神通院医療)は833名となります。

② 障害者手帳等の更新に必要な書類は、次のとおりです。

- ・身体障害者手帳は、印鑑、マイナンバーが確認できるもの、診断書、写真
- ・精神障害者保健福祉手帳は、印鑑、マイナンバーが確認できるもの、診断書、写真、現在お持ちの精神保健福祉手帳
- ・療育手帳は、写真のみ
- ・自立支援医療受給者証(精神通院医療)は、マイナンバー及び収入が確認できるもの、医療被保険者証、医療機関名・所在地・電話番号のわかるもの、薬局名・

所在地・電話番号のわかるもの、現在お持ちの自立支援医療受給者証、印鑑、自立支援医療(精神通院)診断書

が、それぞれ必要となります。

- ③ 診断書の作成料は、医療機関で決定しているため異なりますが、一般的には5,000円から11,000円程度です。
- ④ 香川県高松市やさぬき市で実施している「障害者手帳等更新用診断書等取得費用助成事業」については、ホームページで確認しています。
- ⑤ 香取市では、障害者手帳所持者に対し、各種の助成や手当、福祉サービスなどの支援を実施しています。また、自立支援医療費に対して一定の負担能力に応じ、ひと月当たりの上限額を設定するなどの負担軽減措置を講じています。しかしながら、現在、障害者手帳更新時の助成は実施しておりませんので、今後は、その必要性などを研究してまいります。

【福祉健康部】

2 防災について

(1) 防災訓練について

- ① 香取市でこれまでに実施した防災訓練といたしましては、市民に参加を呼びかけ地震災害、土砂災害を想定した訓練を実施しております。また、職員の防災訓練として参集訓練、災害対策本部設置訓練、情報伝達訓練、避難所開設訓練などを実施しております。

このほか、自主防災組織や住民自治協議会などが主体となり、地域において防災訓練が実施されております。

- ② 今まで開催した防災訓練での児童・生徒の参加についてですが、平成28年度に地震災害を想定し、「香取市役所・佐原中学校」、「小見川いぶき館」、「旧府馬小学

校)、「栗源B&G海洋センター」を会場とし、全市一斉に全市民を対象とした香取市総合防災訓練を開催しております。

この際、「香取市役所・佐原中学校」の会場において佐原中学校の生徒 205 名の参加がございました。

③ 家族や友達と楽しみながら防災知識を身につける「イザ！カエルキャラバン」については、ウェブ上で、確認をしております。

④ 「イザ！カエルキャラバン」については、近隣では、2019年に茨城県神栖市でかみす防災アリーナ開館記念イベントとして実施され、たくさんの子供達や消防団等の地域団体の参加のもと、様々な催しが行われ盛況だったと伺っております。

香取市としても、防災意識の更なる向上を目指して、今後、事例等を研究して参りたいと思います。

【総務企画部】

(2) 避難所の運営について

① 新型コロナウイルスが収束しない中での避難所の三つの密を避ける対策ですが、避難所における新型コロナウイルス感染症への対応については、国からの通知により、可能な限り多くの避難所を開設することや、親戚や友人の家等への避難の検討、避難所の衛生管理、十分な換気の実施、スペースの確保などの留意事項が示されたところであります。

このような中、避難所の居住スペースについて、これまでの一人4平方メートルのほかに、3つの密を避けるため、人と人との距離をできるだけ2メートルを目安に確保することが求められております。

そのため、避難所設置にあたっては、なるべく多くの避難所を開設し、感染防

止対策を講じた対応が取れるよう準備を進めております。

また、これに加え、駐車場での車中避難を想定し、避難所の駐車スペースの確保やゴルフ場などの民間施設の駐車場スペースの活用について、協議をしております。

このほか、避難所での感染リスクを含め、自宅や知人宅等への避難や避難所の留意事項について、「香取市ホームページ」や「広報かとり」に加え自治会あて「回覧文書」等で周知を行っております。

【総務企画部】

3 G I G Aスクール構想について

(1) G I G Aスクール構想の概要と現状について

「G I G Aスクール構想」は、国が制度化して小学校1年生から中学校3年生までの児童生徒1人に1台の端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するものです。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校等の緊急時においても児童生徒が自宅等で活用できるように、令和5年度までの計画を前倒しして、令和2年度中の整備を目指しています。

香取市では、令和2年5月1日現在合計4,561人の児童生徒に対して1,048台の端末を整備しておりますが、1人1台の整備にはさらに3,513台が必要です。また、学校のネットワーク環境も整備済みですが、1人1台の端末に対応するためには、高速大容量の通信ネットワークの整備が必要となります。そのため関連予算案を6月香取市議会定例会に上程したところです。国の制度を活用して、今年度中に学校における1人1台端末の整備を行いたいと考えております。

【教育部】

(2) 教員のICT活用について

今年度から小学校で全面実施となる新学習指導要領では「プログラミング教育」が新しく導入されました。教育委員会では教職員向けに「プログラミング教育」の研修を平成30年度から実施しています。今後は、導入する端末の機能・操作を教員が習得するとともに、授業で有効活用できる研修を企画して指導力の向上を図ります。

【教育部】

(3) 休校中の学習支援等に関する取り組みについて

授業の中で、教師との対話や友達と意見を交わすなどの活動が学校での学習の基本と考えております。しかし、休校中は、その活動ができませんので、学習支援におけるICTの有効活用について、現在検討しているところです。一方、双方向のやりとりのできる電話連絡や個別に登校しての直接の指導なども組み合わせながら、発達段階にあわせて、有効な手立てを講じていきたいと思っております。

【教育部】

4 LINEなどを活用した教育相談窓口の開設について

香取市では、電話相談窓口である「香取市ほっとダイヤル」に加え、平成29年度よりメールでの相談を受け付ける「香取市いじめメール相談」を開設し、いじめの他、学校生活や家庭生活などの悩みの相談を行っています。QRコードを読み取るだけで、自動的に送信メールフォームが表示される仕組みになっており、今年度も4月に児童生徒全員にチラシを配付しております。今後も、悩みを相談できる窓口として周知を図ってまいります。

【教育部】